平成 31 年度 春期 システム監査技術者試験 採点講評

午後 || 試験

問1 (IoT システムの企画段階における監査について)では、IoT システムの概要についての論述が不足していたり、ビジネス上のメリットとは言えない論述にとどまっていたりする解答が目立った。また、企画段階における IoT システムに関わるリスクの論述を求めたが、開発、運用、保守におけるリスクを論述している解答が散見された。企画段階の監査手続については、運用段階の監査手続を論述している解答や、入手すべき監査証拠を記述していない解答が多かった。題意を踏まえて、システム監査人の立場から具体的な監査ポイントと監査証拠を論述してほしい。

問 2 (情報セキュリティ関連規程の見直しに関するシステム監査について)では、見直される情報セキュリティ関連規程の体系を説明しながら論述している解答は少なかった。また、情報セキュリティ関連規程の見直しに関する手続の適切性に関する監査手続の論述を求めたが、見直しを行う立場での論述、見直した関連規程を適用する際の留意点を論述している解答が散見された。関連規程の周知徹底計画及び周知徹底状況の監査手続については、周知徹底を行う立場で論述している解答が散見された。問題文には"単に社員教育だけでなく"と記述され、様々な例を挙げているにもかかわらず、社員教育だけを論述している解答が目立った。